

山田邦子×鳥越俊太郎 がん撲滅を目指して歌う！

～チャリティ・ウーマンとベスト・サムライ～

『スター混声合唱団』誕生！

「がんに向かう人たち、そして、その家族の皆さんを勇気づけたい」、「がんの早期発見治療の大切さを伝えたい」と芸能界、マスコミ界からメディアでおなじみの面々が立ち上がった。

昨年乳がんを告白し、がんに対する啓蒙活動に熱心に取り組む山田邦子(団長)、がんに向かう姿を自ら伝え続ける鳥越俊太郎の二人を中心に、倍賞千恵子など、がんを経験した者。

そして、その呼びかけに賛同した、タレント、女優、歌手、デザイナー、アナウンサーなど、熱い思いを抱いた仲間が集まり、チャリティ合唱団を結成した。

がんに対する知識と理解を広く呼びかけ、コンサートの収益を関連団体に寄付するなど、メンバーは全員ノーギャラ、ボランティアで、今後さまざまなチャリティ活動を行う。

日ごろメディアでは元気に華やかに振舞って見える面々だが、どうやって病気に立ち向かってきたのか。普段の活動では見られない真摯な姿を伝えることで、「命を輝かせるということ」、「手に入れた生きる喜び」、「病と向き合うということ」を考えたい。

「チャリティ合唱団結成」

音頭を取るのはタレントの山田邦子。昨年乳がんの摘出手術を受けた。以来、その経験を生かしテレビ・ラジオ・新聞・雑誌、そして全国に出向き、乳がんの早期発見と治療の啓蒙活動に熱心に取り組んでいる。

そんな彼女の呼びかけに賛同したのは、ジャーナリストの鳥越俊太郎。2005年に直腸がんであることを告白し、闘病宣言。その後2007年にもがんが肺に転移、手術したことを明かすなど、「がんに向き合う」辛さ、苦しさ、再び手に入れた生きる喜びなど、あますところなく自ら伝えることで多くの人たちを勇気づけている。

また、日本映画に欠かせない庶民派女優「下町の太陽」と呼ばれる倍賞千恵子は5年前の自身の早期乳がんの経験から、今回の山田邦子の闘病を支えてきた。

1993年に初期の乳がんを手術し、まさに「人生いろいろ」苦難の多い経験をしながら、ライブハウスなど演歌歌手の枠を越えて精力的に活動する歌手の島倉千代子。

フリーアナウンサーの原元美紀は、出演する番組の取材で受けた検診で、偶然、大腸がんを早期発見。摘出手術を受け現在は元気に全国を取材で飛び回っている。

みな、自分たちが「どうやって病気と向き合った」のか、語り歌うことで何かを伝えられるのならという思いを胸に集まった。

「山田邦子がある日、鳥越俊太郎に言った」

「歌、歌えますか？」

「集まって、何かしましょうよ」

「笑ったらがん細胞も小さくなるって言うでしょ。楽しいステージ作って、チャリティしましょう」

「人は支え、支えられ、です。みんなで元気になっちゃいますか！」と声をかけた。

「いいですね。では、一緒に笑って、癒されるチャリティ合唱団を作りましょう。」

2008年初春、その場にいた、がんを経験した鳥越俊太郎、原元美紀。そして、コシノジュンコ、渡辺宜嗣、指揮者の奥村伸樹が発起し、合唱団結成へ歩みだした。

「広がる輪」

山田邦子の呼びかけに、病気に苦しむ人たちや家族の方たちを応援したいという輪が広がった。テレビ、舞台、全国でのコンサートと忙しいスケジュールの中、ボランティアやチャリティ活動を積極的に行っている歌手の小林幸子は二つ返事でこの会に参加が決まった。

「もののけ姫」で一斉を風靡し、世界的に活躍するカウンターテナーであり、病や苦難との格闘の末に「生きる力」を開花した米良美一。突然の脳梗塞で倒れ、アナウンサーでありながら声を失い、その後苦しいリハビリを乗り越えてキャスターに復帰した皇室ジャーナリストの久能 靖など、闘病経験を持つ者たちもすぐに賛同した。

合唱団を指揮するのは、紅白歌合戦などテレビ出演をしながら 90 名のトランペット・ファンファーレ隊、オーケストラのプロデュースも手がける指揮者の奥村伸樹。メンバーの個性豊かなメロディーをそのままに、ひとつの音楽へとまとめていく。

なお、鳥越俊太郎は実娘でシャンソン歌手の鳥越さやかと親子共演。倍賞千恵子は夫で作曲家の小六禮次郎との夫婦共演。この合唱団ならではの珍しい組み合わせが注目される。

こうして、山田邦子の呼びかけに賛同した仲間たちがあつという間に集まった。

「2008 年春始動！」

2008 年 4 月 1 日、はじめての顔合わせとリハーサル、そして初披露。

メンバーは芸能界、マスコミ界からおおよそ 30 名。タレント、女優、歌手、音楽家、ジャーナリスト、アナウンサーなど日ごろメディアに登場する者たちだが、お互い初対面の者も多く、実は本人たちもドキドキする瞬間だ。それぞれの熱い思いを乗せた歌声とともに新たな合唱団が始まる。私たちがこれから病気や困難に負けず頑張っていく様子、変化していく姿を見てもらいたいと、あえて誕生の瞬間を披露する。

スター混声合唱団 とは 【要旨】

名 称： スター混声合唱団 ～チャリティ・ウーマンとベスト・サムライ～

活動目的： 日本人にとって「最大の国民病」とされるがん。生活習慣の改善や早期発見が予防に繋がると言われながらも、昭和 56 年以来依然死亡原因のワースト 1 位とされている。そこで、芸能界やマスコミなど、メディアに登場する面々が自らの「がん体験」を語ってがんと向き合うことを呼びかけたり、歌って励ましたりするチャリティ・コンサートを開催するなど、多くの人たちに正しい知識と理解を呼びかけていく。また収益を関連団体に寄付する。

活動内容： 1 チャリティ・コンサートの開催
2 イベントへの参加
3 収益の寄付

寄付先(案)： * がんの早期発見・予防に関する団体
* がん患者に対する直接支援
* 医師・医療従事者養成のための機関 など
今後、医療関係者、医療機関をはじめ、さまざまな分野の有識者の意見を聞きながら検討していく予定

今後の活動予定：

2008 年 6 月 12 日(木)18 時～ 丸ビル マルキューブ(東京・丸の内) <予定>
前立腺がんの「早期発見・適切治療」推進
「ブルークローバー・キャンペーン 2008」
ゲスト・鳥越俊太郎・さやか親子の応援参加

演 目： 合 唱...「手のひらを太陽に」、「翼をください」など
トーク...闘病経験など、自分達が病とどう向き合ってきたのかをテーマに語る
* その他、多数の芸能人が所属する合唱団ならではの、笑って元気になってもらおうという様々な楽しい企画を予定

メンバー：メディアに登場しながら、自ら闘病の経験を持つ者、がんに苦しむ人を応援したいという病気への関心が高い者など、山田邦子の呼びかけに賛同した仲間たち。

団長：山田邦子（タレント）

副団長：鳥越俊太郎（ジャーナリスト）

岩崎良美（歌手） / 梅田陽子（フリーアナウンサー） / 大江千里（歌手）

大下容子（テレビ朝日アナウンサー） / 大桃美代子（タレント）

柏原芳恵（歌手） / 片岡鶴太郎（俳優、画家） / 川原みなみ（タレント）

久能 靖（皇室ジャーナリスト） / コシノジュンコ（ファッションデザイナー）

後藤史郎（メディア・プロデューサー） / 小林昭子（タレント）

小林すすむ（俳優） / 小六禮次郎（作曲家） / 島倉千代子（歌手）

笑福亭笑瓶（タレント） / 角 盈男（野球解説者・タレント） / 高嶋政伸（俳優）

つるの剛士（タレント） / 鳥越さやか（シャンソン歌手） / 中嶋美年子（フリーアナウンサー）

西田ひかる（タレント） / 倍賞千恵子（女優） / 橋本志穂（タレント）

林家たい平（落語家） / 原田大二郎（俳優） / 原元美紀（フリーアナウンサー）

日野原重明（聖路加国際病院理事長） / 町 亞聖（日本テレビキャスター、厚生労働省担当）

米良美一（カウンターテナー） / 柳原可奈子（タレント）

山田貴敏（漫画家、『Dr.コトー診療所』） / 渡辺 徹（俳優）

渡辺宜嗣（テレビ朝日アナウンサー）

指揮：奥村伸樹（音楽家）

以上、設立時のメンバー

五十音順

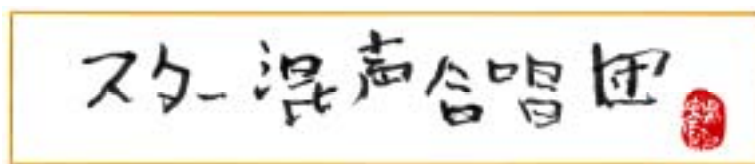
*全てのメンバーが「がん患者」ではありません。がんや病気の経験者は以下の通りです。

山田邦子（乳がん）、鳥越俊太郎（大腸がん、肺がん）

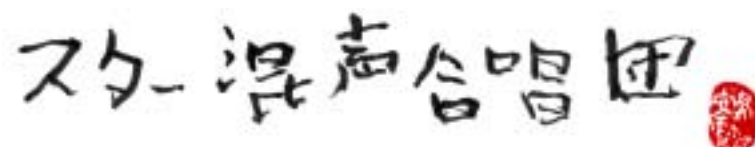
川原みなみ（卵巣がん）、島倉千代子（乳がん）、倍賞千恵子（乳がん）、原元美紀（大腸がん）

米良美一（先天性骨形成不全症）、久能 靖（脳梗塞）

スター混声合唱団 ロゴマーク:



片岡鶴太郎書



スター混声合唱団 公式サイト 2008年4月1日開設

<http://sutakon.jp> 携帯からはこちら <http://sutakon.jp/i/>

音楽協力 : [株式会社オーケストラプレゼンター](#)

オフィシャルカメラ / Web ブログ制作・Web アドバイザー : 若狭靖弘 ([DADA Inc.](#))

公式サイト制作 : [株式会社オーケストラプレゼンター](#)

スター混声合唱団事務局

所在地

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-14 ミカワヤビル 4F ゴッズ内

Tel. 03-5545-6781 Fax 03-5545-6782

e-mail: office@sutakon.jp